

地区別計画は、暮らしやすいまちづくりをめざし、各地区が抱える課題などを地区の特性や資源を活かしながら地区自らが解決しようとしている活動（＝地域福祉保健活動）の行動計画です。

瀬谷第二地区

誰もが健康で安全に安心して、心豊かに暮らせるまち

- 健康づくり
- 災害対策の向上
- まちの安全を守る活動
- 地域活動への参加拡充
- 子ども・青少年の見守りと支援
- 高齢者・障害者への見守りと支援
- ボランティア活動の拡充



南瀬谷地区

みんなで育てよう暮らしやすいまち みなみせや

- ◆地域の支え合い・助け合い
- ◆顔の見える関係づくり・交流
- ◆安心・安全なまちづくり



あいさつ♥いっぱい♥みなみせや



細谷戸地区

心が通じる地域づくり・地域は家族

- ビーハイブ活動の推進
- 地域内の子ども育成対策
- 災害時の対応
- 障害のある方の把握と援護



宮沢地区

水と緑のまちづくり宮沢

- 災害対策
- 地域での健康づくり
- 地域活動と見守り体制の充実
- 誰にもやさしいまちづくり
- 活動拠点の確保



瀬谷第四地区

元気で明るい楽しいまち

【連携（つながり）の強化】

- 子ども・親との連携支援
- 障害者・家族との連携支援
- 高齢者への支援

【地域活動の活性化】

- 第四地区のきすな
- 見守りサポーター活動推進強化
- 人材発掘・人材育成



相沢地区

地域で生活するすべての人が安心して生活できるまちづくり

- ①みんなで見守り支え合うまち
- ②すべての人が健康で長生きできるまち
- ③みんなで助け合うまち



地域福祉保健計画とは

地域福祉保健計画は、住民、自治会町内会等の住民組織、事業者、公的機関（行政・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いを進めることで、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指す計画です。

副題 「暮らしやすいまちづくりの計画」

区民の皆さんのご意見を聞きながら、第3期計画の中で大切にしたいと思っているテーマを、分かりやすく一言で表現できるような副題（サブタイトル）をつけました。地域に共通した様々な生活課題を、地域の支え合いや助け合いなどの取組（自助・共助）で解決し、一人ひとりの区民がみんなで意識して「暮らしやすいまちづくり」を進めていきましょう。

瀬谷区マスコットキャラクター



第3期 瀬谷区地域福祉保健計画

発行年月：平成28年2月
 発行：横浜市瀬谷区役所
 横浜市瀬谷区二ツ橋町190番地
 電話 045-367-5702（福祉保健課）
 瀬谷区社会福祉協議会
 横浜市瀬谷区二ツ橋町469（せやまる・ふれあい館2階）
 電話 045-361-2117

協力：二ツ橋地域ケアプラザ 瀬谷区二ツ橋町83-4
 阿久和地域ケアプラザ 瀬谷区阿久和南2-9-2
 中屋敷地域ケアプラザ 瀬谷区中屋敷2-18-6
 下瀬谷地域ケアプラザ 瀬谷区下瀬谷2-44-6
 二ツ橋第二地域ケアプラザ 瀬谷区二ツ橋町469（せやまる・ふれあい館1階）

●第3期計画を詳しく知りたい方は、瀬谷区役所福祉保健課（4階44番）又は区社会福祉協議会（せやまる・ふれあい館2階）にて計画冊子を配布しています。

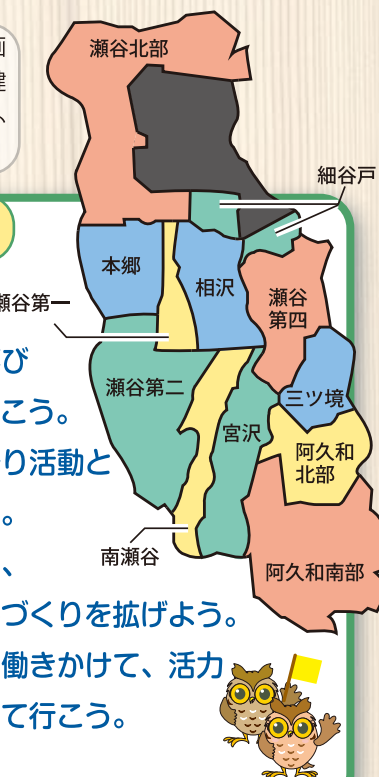
概要版

暮らしやすいまちづくりの計画 第3期 瀬谷区地域福祉保健計画

平成28年2月

地区別計画

ここでは、計画の目標や柱を紹介しています。計画の詳細をお知りになりたい方は、瀬谷区役所福祉保健課（4階44番）又は区社会福祉協議会（せやまるふれあい館2階）にて計画冊子を配布しています。



阿久和北部地区

未来につなげる笑顔あふれるまちづくり
～元気で見守り支え合い安心できる地域を目指して～

- ①見守り合いシステムの構築
- ②「見守り合い広場」を健康づくりの拠点に
- ③みんなで手を携え地区内の事業展開に更なる推進を



瀬谷第一地区

1. 健康長寿をともに喜び合える地域にしてゆこう。
2. 地域から幅広い見守り活動と支援を推進しよう。
3. 地域から友達づくり、仲間づくり、担い手づくりを拡げよう。
4. 住民の要望を行政に働きかけて、活力の生まれる地域として行こう。



阿久和南部地区

いつまでも住み続けたいふるさとまちづくり
～みんなで創ろうなんふ・あくわの和！輪！笑！～

- ♥地域交流でふるさとづくりの和
- ♥地域で見守り高齢者、障がい児・者とのあたたかい輪
- ♥地域で育む子ども・子育て世帯との笑



本郷地区

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域をみんなでつくり、笑顔つながる幸せ実感の地域を実現しよう。

1. みんながつい楽しむふれあいの地域づくり【ふれあい】
2. ともにつながり支え合う安心の地域づくり【安心】
3. すこやかに育つ力を育む希望の地域づくり【希望】
4. 「健康長寿の里」を目指す自立の地域づくり【自立】



三ツ境地区

みんなで幸せに長生きをする～集い 寄り添い 住みよい三ツ境 まちづくり～

- ・たくさんの人が地域行事や活動に積極参加する環境作り
- ・お互いの顔が見える関係と柔らかく温かい連帯・絆を作る



瀬谷北部地区

みんなで支え合い顔の見える笑顔あふれる地域づくり

- 取組をととしての5年後に開花
- 地域活動の担い手の充実
 - 各種団体の取組の共有
 - 要支援者への支援の強化



第3期 瀬谷区地域福祉保健計画推進に向けて

瀬谷区地域福祉保健計画の基本理念

みんなで作る みんなのしあわせ

基本理念 みんなで作る みんなのしあわせ

瀬谷区では第1期から「一人ひとりの個性や人間性を大切にします」、「一人ひとりが互いに思いやり、地域のきずなを大切にします」、「人と人とのあたたかい関係を大切にします」という考え方を念頭に、「みんなで作る みんなのしあわせ」を基本理念と定めて取り組んできました。

第3期もこの基本理念を継続し、瀬谷区に暮らしているすべての人にとって、しあわせな地域をつくるために、区民、団体、行政が連携し、みんなで取組を進めていきます。

基本目標を実現するために必要な大切な視点①～⑤

①一人ひとりの個性や立場を尊重すること

一人ひとりの個性や立場を尊重することは、すべての活動において前提となる、とても大切な視点です。
この視点を持ちながら、地域での見守り・支え合い、健康づくり、その他様々な取組を充実させていきましょう。

②幅広い世代や人が参加すること

第1期計画の取組が始まって10年が経過し、各地区の取組も盛んになりました。引き続き取組を進めていくためには、若い世代の人や今まで参加していなかった人など、より幅広い世代や人が活動に参加することが重要です。そのためには楽しそうな雰囲気であたたかく迎え入れる工夫が必要です。

③必要な情報を把握、共有、発信すること

支援が必要な人へ適切な支援を届けるためには、何が提供できるかを伝えることが必要です。また、支援のための活動に参加できる人へも、活動の内容を的確に伝えることが重要です。必要な情報を把握、共有し、届けるという視点を十分考慮し、取組を進めていきましょう。

④連携を進め、強化すること

地域福祉保健計画の取組は「すべての人」を対象とした「暮らしやすいまちづくりのための取組」です。
地区、関係機関等が情報を共有し、連携を進め、強化しながら課題の解決につなげるという視点を基に取組を進めます。

⑤様々な地域資源を開発、活用すること

活動を進める上では、新たに地域資源を開発するほか、既存の資源を活用する視点も必要です。
様々な支援制度や既存の施設の活用など、地域の取組に応じた進めましょう。

これらの大切な視点をみんなが意識しながら協力して取り組んでいくんだね。



第3期 瀬谷区地域福祉保健計画 全体像

[基本理念] みんなで作る みんなのしあわせ

一人ひとりの個性や人間性を大切にします

一人ひとりが互いに思いやり、地域のきずなを大切にします

人と人とのあたたかい関係を大切にします

基本目標Ⅰ 隣近所で見守り・支え合う地域づくり

基本目標Ⅱ 健康・長寿をめざす地域づくり

基本目標Ⅲ 誰もが活動に参加する地域づくり

基本目標を実現するために必要な大切な視点

①一人ひとりの個性や立場を尊重すること ②幅広い世代や人が参加すること

③必要な情報を把握、共有、発信すること

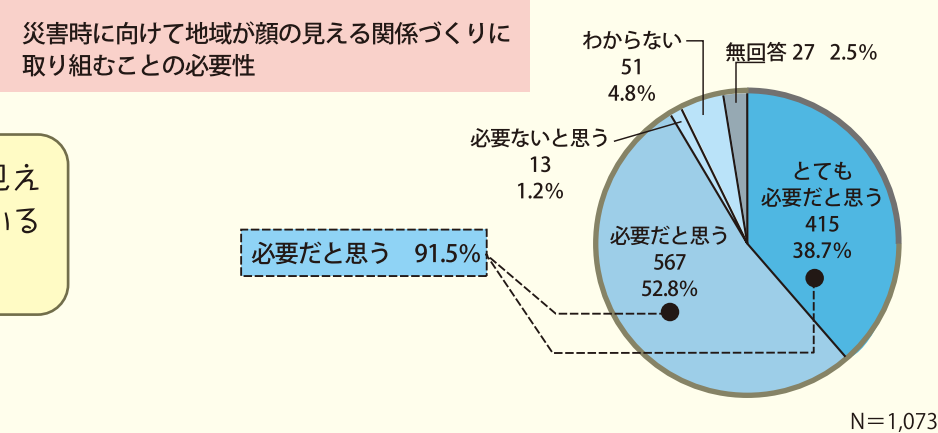
④連携を進め、強化すること ⑤様々な地域資源を開発、活用すること

暮らしやすいまちづくり

基本目標Ⅰ 隣近所で見守り・支え合う地域づくり

第3期計画では、地域で生じている、子育ての不安や介護負担の増大等様々な生活上の課題を、各地域に共通した課題としてとらえます。地域共通の課題を解決するため、多くの区民が必要を感じている「隣近所等地域の見守りや支え合い・助け合いの取組」を軸とし、「暮らしやすいまちづくり」を進めていきましょう。

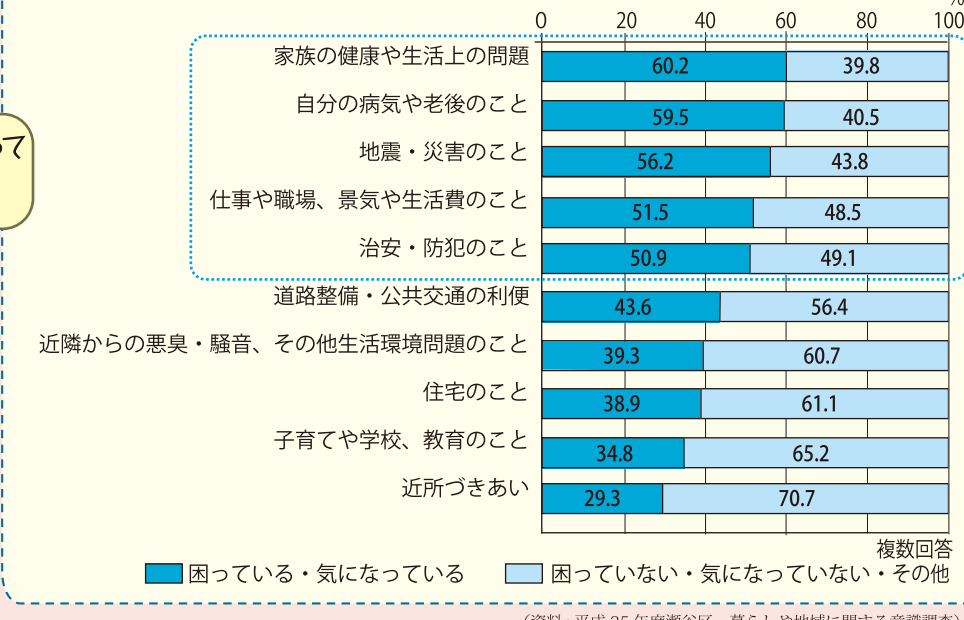
顔の見える関係づくりの必要



基本目標Ⅱ 健康・長寿をめざす地域づくり

誰もが自分らしくいきいきとした毎日を過ごすためには、一人ひとりが健康であることが大切です。そのためには、生活習慣の改善等個人の健康意識の向上や、地域活動等人と人のつながりをつくる活動への参加が有効です。区民、団体、行政が連携して『健康づくり』に取り組み、「健康・長寿をめざす地域づくり」を進めましょう。

日頃の心配事



基本目標Ⅲ 誰もが活動に参加する地域づくり

地域での様々な取組が非常に進んできた一方で、担い手、参加者等顔ぶれが一緒といった声も聞かれます。地域活動の担い手となるために有効な「きっかけづくり」や「情報提供」等を通じて、一人ひとりが持っている知識や経験を生かし、活動に関わることができるよう、人の輪を広げていきましょう。

地域活動の担い手として参加するために必要なこと

